



公益財団法人 **京都市ユースサービス協会**

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262
京都市中京青少年活動センター内

業務時間：平日10:00-21:00／日・祝10:00-18:00

休務日：水曜日・年末年始（12月29日-1月3日）

TEL:075.213.3681 FAX:075.231.1231

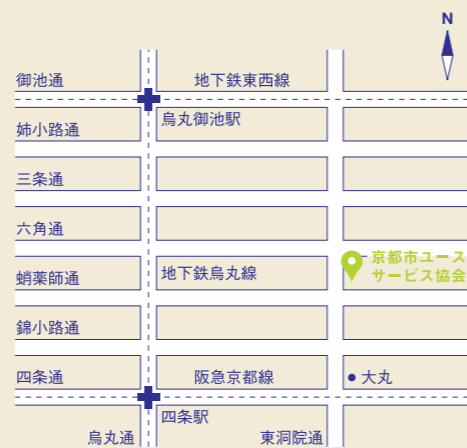
MAIL:office@ys-kyoto.org

[アクセス]

地下鉄烏丸線「四条駅」「烏丸御池駅」から徒歩5分

阪急京都線「烏丸駅」から徒歩5分

<http://www.ys-kyoto.org>



Since 1988

**Kyoto City
Youth Service
Foundation**

公益財団法人
京都市ユースサービス協会

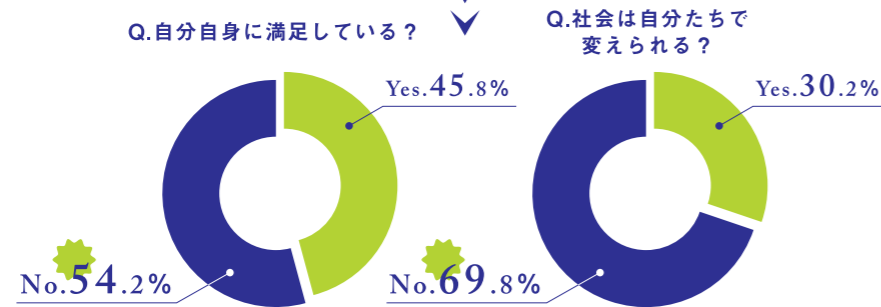
ミライ、
Create the Future
ツクル。

<http://ys-kyoto.org/>

ミライ、×ツクル。

京都市ユースサービス協会は、
若者ととも未来を描き、
若者が生きやすい社会をつくります。

いまの日本の若者は、自分や社会に満足していない。
でも、そんな社会を変えられるとも思っていない。



参考:内閣府「平成26年版子ども・若者白書」

Solution

若者が本来持つ力に信頼を寄せる。

京都市ユースサービス協会は若者が社会の担い手として成長するために、若者の力を引き出す場として、社会参加と自主的な活動の機会を提供し、必要な支援を行っています。



REKの活動について振り返り語る佐賀さん



REKのリーダーとして活動していたころの佐賀さん



「表現活動へのお誘い」にて(左が砂連尾氏)



有機農業に励む滝山さん

Voice { ユーザーの声 } ユースサービスに出逢って…

Voice. 01 育った場から始める

佐賀直人 Naoto Saga

きっかけは、ユースサービス協会で知った「市民参画」というアイデアでした。活動を通して理解したのは、それは「自らの居場所を知り好きになること」、そしてボランティアや社会貢献というより、自分が好きになった場所に対して何かしたいという気持ちからの行動なのだ。そこで「ラウンドアイズ京都」(REK)という、子どもが自分の住んでいる町を歩き、地域に暮らす人と出会い、自分が育った場所を好きになるためのプロジェクトを立ち上げました。そのような参加の経験が将来、その人なりの「市民参画」に繋がっていき、社会を創る未来に繋がるのではないかと感じています。

さが・なおと
会社員。在学中にREKを立ち上げリーダーとして活動。生まれ育った日本のための仕事をしたいと、総合商社で海外からエネルギーを供給する仕事に従事。

Voice. 02 礎、そして世界へ!

砂連尾 理 Osamu Jareo

元々は一利用者でしたが、ニューヨークのダンス留学から戻ってきたときに声をかけられ、人生最初の仕事としてモダンダンスのワークショップの講師をさせていただきました。しかし手探りで始めた1~2年目、事業は低調でした。このままでは継続が厳しいと感じていた3年目に提案があり、担当ユースワーカーと一緒に半年間かけて事業を練り直すことにしました。どんな内容にするのか、参加者にどう考えて欲しいかなど、何度も議論を繰り返して悩み考えたことを思い出します。あの時の濃密な時間と経験が、今の私の大きな礎になっていると実感しています。

じゃれお・おさむ
振付家、ダンサーとして海外10ヶ国12都市で公演。作品は日独共同制作「thikwa+循環プロジェクト」など多数。京都市芸術文化特別奨励者。

Voice. 03 一休みときっかけ

滝山香里 Kaori Takiyama

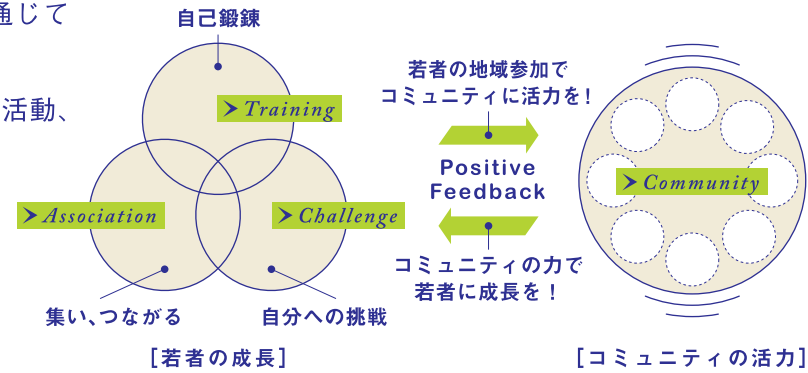
私は、性格の悩みや自信のなさから、何もできなくなっていた時に居場所プログラムと出会いました。その頃、人と関わるのも辛かったので馴染めるかどうか不安で一杯でしたが、参加してみると、みんなでカードゲームや、散歩など、穏やかな雰囲気でも落ち着きました。今悩んでいる自分そのままでもいられる場所だと思えました。悩み相談ではなく、何気ない会話ができるここでの一休みは、次に進むためのきっかけになりました。今は農業の仕事に就き、お客さんが笑顔になってもらえるよう、仕事に励んでいます。今、立ち止まっている人に、こんな場もあるんだよと教えてあげたいです。

たきやま・かおり
最初に仕事をリタイアしたとき、青少年活動センターの居場所プログラムに参加。そこで自らの関心に気づき、現在はベンチャー企業で有機農業に取り組む。

Philosophy { 理念 }

「ユースサービス」は、青少年支援の方法です。

集団への参加や自主的な活動を通じて
青少年が責任ある大人へと
成長する機会を提供し、支援する活動、
それがユースサービスです。



事業の4つの柱

ユースサービスの理念に基づき、4つの柱をたてて事業を展開しています。
ここでは事業の一部と併せてご紹介します。

Work.1

若者が本来持っている力を発揮する場づくり

D.I.Y! カフェ(だったら、いっしょに、やませいで!)

カフェコーナーで、若者による提案型の「食」のイベントやカフェ出店ができます。運営や広報の仕方については、必要に応じて職員がサポート&アドバイスしながら進めます。

演劇ビギナーズユニット

初心者を対象とした演劇の協働創作プログラムです。創造体験を通じて個人・集団としての成長を図りながら、初対面のメンバーが3ヶ月後に演劇公演を成し遂げます。



若者の成長を支える “ユースワーク”という仕事

演劇ビギナーズユニットにユースワーカーとして長く関わって来ました。この事業からはプロの演劇人も多く輩出しているので、芸術振興の事業かと思われがちですが、私たちは演劇創作の持つグループダイナミクスに注目し、それを青少年の成長を促す手段と捉えてプログラムを展開しています。ユースワークとは、個別の関わりやグループの力を活用しながらメンバーに寄り添って、彼らに成長の機会を提供する活動です。この事業の「誰ひとり欠けても成立しない」という集団創作の構造は、「代替の効かない唯一無二の存在である」自分への気づきや、異なる価値観の受容、コミュニケーションの能力などを育みます。自信がなく何事も前向きにならなかった若者が、この事業を通して自己肯定感を高め、力強く自分の道を歩み始める場面に、何度も立ち会ってきました。ユースワーカーとして一番うれしい瞬間です。(ユースワーカー M.O)



About
"Youth Work"

Work.2

若者が課題を乗り越えていくための支援

ロビー喫茶

ロビーの一角に喫茶コーナーを設置し、軽食等を提供しています。喫茶の運営は20代のボランティアが行っており、カウンターをはさんで、中高生の声に耳を傾けたり、相談ののりたりしています。大学生がロールモデルを示すことにより、10代の若者が課題に向き合うきっかけとなっています。

野菜づくりから仕事に近づく

働くことに不安を抱えている若者を対象に、農作物の栽培、収穫、販売などを、4ヶ月にわたって行う就労体験プログラムです。技術の習得だけでなく、農作物の成長や仲間と共に働く喜びを体感することで、自己肯定感と勤労意欲の向上をはかります。

相談

日常的なかかわりの場である7カ所の青少年活動センターと、専門相談機関である京都若者サポートステーション、子ども・若者総合相談窓口、ひきこもり地域支援センターが連携し、若者もしくはその保護者の個別的な相談に乗っています。情報提供やアドバイス等の軽い相談から、専門的なカウンセリングまで、幅広くサポートしています。



Work.3

若者の市民参加、地域社会への参加を促す

伝記作成プロジェクト

若者が地域に住む高齢者を訪問して、関係を築きながら人生経験を聞き取り、一冊の伝記にまとめて、敬老の日に本人へ贈呈する事業です。高齢者の知恵や経験を聞き取ることに留まらず、それを社会に伝え、発信することで、若者が地域社会へ目を向け、参加する機会となっています。

JTL (Japanese Talking Lesson)

外国にルーツを持つ方との日本語の会話レッスンをツールにした交流事業や、若者自身が企画・運営する文化体験企画を通じて、多文化共生社会の理解と実現を目指すプログラムです。同じ地域の中に様々なバックグラウンドを持つ方が生活していることを実感し、お互いの多様な価値観に触れることを楽しみながら活動しています。

Work.4

ユースサービスの考えを広め、調査、研究を行う

研修/研究

各事業所で若者の支援に携わるスタッフを「ユースワーカー」と位置づけ、その専門性を高めるため、経験年数別研修、外部派遣研修、事例研究に基づく省察的研修および各事業所におけるOJTを行っています。また事業評価や関連学会への参加、共同研究などを通して専門性を深めています。

地域コミュニティにおける若者指導者の力量形成

「ユースワーカー養成講習会」と、それに続く「資格認定コース」を開講しています。また、立命館大学大学院 応用人間科学研究科に「ユースワーカー養成プログラム」を共同開設しています。

広報誌の発行

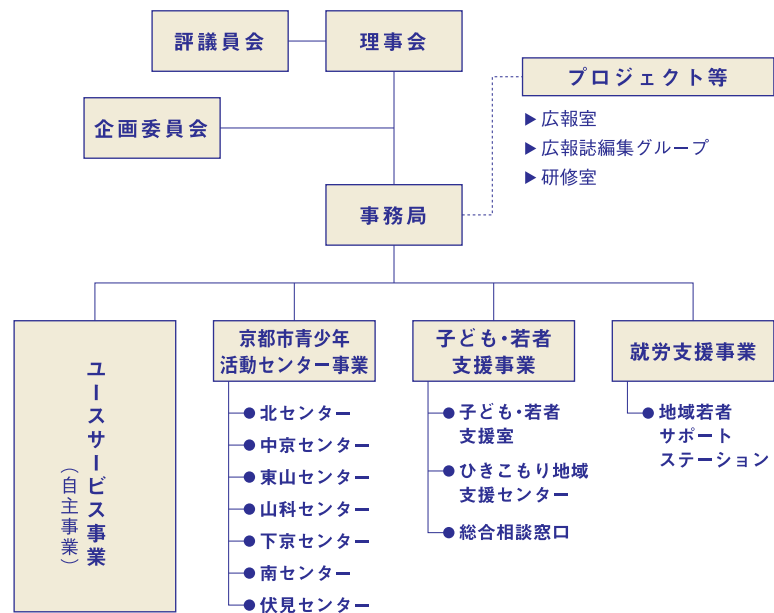
年数回、広報誌「ユースサービス」を発行し、ユースサービス協会の周知に取り組んでいます。



History { 歴史 }



Outline { 組織図と事業 }



Staff { 職員 }

ユースワークの専門スタッフ
「ユースワーカー」が各事業を担う。

- 〈職員の保持する資格〉
- ユースワーカー
 - キャリアコンサルタント
 - 臨床心理士
 - 産業カウンセラー
 - 社会福祉士
 - 精神保健福祉士
 - 思春期保健相談士
 - 地域公共政策士
 - 社会教育主事
 - 保育士
 - ...他



未来を描く、社会を創る。

Data { 団体データ }

■ 基本情報

名称:公益財団法人 京都市ユースサービス協会
 代表:理事長 安保千秋
 所在地:〒604-8147 京都市中京区東洞院六角下ル御射山町262番地
 設立:1988年3月29日
 基本財産:3000万円(京都市による出捐金)
 正味財産:83,793,586円(平成28年3月末日現在)
 予算額:394,315,000円(平成29年4月現在)
 公益事業比率:89%
 役員数:理事7名、評議員7名、監事4名
 職員数:54名(平成28年度3月末日現在)
 ボランティア:763名(平成27年度に活動したボランティアの実数)

■ 歴代理事長

1988年~1997年 大塚達雄(故人):同志社大学名誉教授
 京都障害児福祉協会理事長
 1997年~2003年 柴野昌山:京都大学名誉教授
 2003年~2014年 遠藤保子:立命館大学教授
 2014年~ 安保千秋:弁護士

■ 主な事業活動

- 情報発信事業
- 市民参加促進事業
- 青少年グループ・NPOとの連携、ネットワーク形成事業
- 調査・研究・研修事業
- 指導者養成事業
- 青少年の交流促進事業
- 運営受託事業
 - ・京都市青少年活動センターの運営=指定管理者
 - ①北青少年活動センター
 - ②中京青少年活動センター
 - ③東山青少年活動センター
 - ④山科青少年活動センター
 - ⑤下京青少年活動センター
 - ⑥南青少年活動センター
 - ⑦伏見青少年活動センター
 - ・子ども若者総合支援事業
 - ①京都市子ども・若者支援地域協議会指定支援機関
 - ②子ども・若者総合相談窓口
 - ③京都市ひきこもり地域支援センター
 - ④地域若者サポートステーション
 - ⑤中学3年生学習支援事業
 - ⑥児童養護施設退所者の支援事業